

研究構想シート	学校名	松江市立忌部小学校
	氏名	橘 浩明
A 研究主題 主体的に学びに向かい、表現できる児童の育成 ～国語科の授業を通して～		
B 研究の目的 主体的に学びに向かい表現できる児童を育成するために、国語科の授業において、どのような指導を行えばよいのか、その効果的な指導のあり方を、実践を通して明らかにする。		
C 子どもの実態 ・全体的に、進んで自分の意見や考えを伝えたり、筋道を立てて論理的に伝えたりする力が弱いという課題が散見される。 ・国語科の学力調査（県学テ）の結果から、「文章を書くこと」「問題を読み取るスピードの遅さ」などの弱みが見られ、こうした弱みが各教科にも広がっていると考えられる。	E 手立て・内容（研究仮説） 国語科において語彙力を増やすための指導を工夫したり、文章の構成を意識して書かせる活動を取り入れたり、発信したい情報を様々な手段で表現する場の設定を工夫したりすれば、主体的に学びに向かい表現できる児童が育つであろう。 視点①語彙力を増やすための指導の工夫 視点②文章の構成を意識した書く活動の工夫 視点③発信したい情報を様々な手段で表現する場の設定	D めざす子どもの姿 国語科において語彙力を高め、文章の構成を理解し、発信したい情報を様々な手段で表現する等の力が身につけば、それを他教科でも生かしていけるのではないかと。また、主体的に学びに向かい、表現できる児童が育つのではないかと。
	F 検証方法 ・児童の表現活動からの評価（ノート・作成物・発言・つぶやき） ・学力調査結果 ・学校評価の成果指標	
	G 研究計画 4月 研修委員会（児童の強み、弱みから今年度の方向性を確認） 5月 指導案の書き方について 6月 全国学力調査について 8月 各学年の取り組みの振り返りと2学期に向けて 全国学力調査結果返却・分析 12月 県学力調査（5、6年） 各学年の取組の振り返りと3学期に向けて 2月 県学力調査・全校学力調査結果分析 今年度の研究のまとめ	